

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No.125
2003年4月27日



希望に胸膨らませて入学式

3月定例会

4年連続マイナス予算	2
法定合併協議会の早期設立を目指す 補正予算	4
「ムサシ」出店反対の請願は継続審査 請願・陳情	5
資源ゴミ回収の住民理解を図れ 常任委員会	6
町政を問う 一般質問(12議員)	8
シリーズ海洋深層水	21
「自然の恵みと親切に感謝を」	22

4年連続マイナス予算

負担金・補助金の削減に大なた

平成15年度予算での特徴の一つは、補助金や交付金の思い切った廃止および削減を行ったことである。
これは、厳しい財源難を背景にしたものであり、前年度より約800万円あまりを削減した。

予算の特徴

平成15年度予算は、現下の経済状況が非常に悪化する環境にあって、対前年比4年連続のマイナスとなった。

町税の減収や国からの交付金の削減などで厳しい予算編成となった。

予算の項目別概要

一般会計

94億4060万円

特別会計

・国民健康保険

18億7420万円

・老人保険医療

32億1070万円

・簡易水道

1億4800万円

・育英奨学資金

484万円

・下水道

16億8820万円

・農業集落排水

8億1870万円

歳入

歳入の内、主なる町税は対前年比でマイナス2・9%で29億185万円となっている。

また、地方交付税も5・9%の減収を計上している。

これらの減少分を町の貯金である財政調整基金や減債基金からの繰り入れで補った。

歳入の主な分類

・町税

29億185万円

・繰り入れ金

6億6201万円

・分担金及び負担金

2億3566万円

・諸収入

3億6510万円

・町債

9億9770万円

歳出

徹底した負担金と補助金などの見直しで、対前年より800万円余を削減した。

しかし、福祉関係費の民生費は、歳出全体の21・6%で前年比5・8%の増額となっている。

この民生費では、子育てサポート事業など、子供を産み育てやすい環境整備に重点配分した。

また、15年度は町が合併して50周年にあたることから、種々の記念事業費を計上した。

さらに、継続事業として運動公園陸上競技場の改修費や栢山公民館の外周整備費を計上した。

項目別の主な事業

いかに

自然と共に
生きるまちづくり

ごみ対策では、容器包装リサイクルとして、再生広場の整備拡充を図る。

入善の資源である地下水を保全する活用条例の制定を目指した検討が続けます。



運動公園の桜

厳しい財源難のなか

やすらひ

健やかで安心して暮らす空間づくり

第3子以降の誕生には「子宝支援金」を支給する。高齢者福祉計画を見直すとともに介護保険事業計画をスタートさせる。

町の大きな財産である海洋深層水を活用したウエルネス施設整備を目指し、計画を策定する。

いど

元気に挑戦する産業づくり

深層水を活用したアワビのブランド化を図り、漁業の振興を目指す。

コメ作りでは、品質低下が続く傾向に歯止めをかけ、入善産米品質向上対策に取り組む。

集落営農組織の育成や農業経営の安定化を進める。

新規の企業立地には新たに助成策を設け、進出を支援する。

せすく

安全でつながるおいのある空間づくり

幹線道路網計画に基づき、地域の交通網の整備を図る。住宅対策では、東町公営住宅の整備を進め快適な住まいの環境をつくる。

下水道事業の整備をさらに進め、簡易水道の更新を推進する。

まじわる

にぎわい生れる交流づくり

アメリカのフォレストグロープ市や中国哈密(ハミ)市などの交流や、宮城県米山町との姉妹都市提携の調印をし、一層の交流促進を深める。

健康交流プラザ「サンウェル」での交流拠点を特化させ地域間交流を進める。

園家山湧水施設の改修を行い、新たな交流拠点づくりを進める。

みがく

未来を育むひとづくり

運動公園陸上競技場の整備改修をし、市民のスポーツへの参加を促す。

老朽化した西中学校の改築計画の策定、学校での情報化教育の拡充に努める。

子供の心理面でのサポート対策として「心の相談員」や「ことばの教室」などを継続する。

発電所美術館での魅力的な事業展開を図る。

まちづくり推進のために

昭和28年に合併した入善町は、50周年を記念した事業を行い、先人の歩んだ歴史に思いを新たにす。ケーブルテレビの番組を通して、地域に密着した番組を提供する。住民サービスの利便性向上を目指し、電子窓口サービスの導入検討を始める。



今年のフラワーロード

法定合併協議会の早期設立を目指す

設立準備会に負担金

今回の補正は、市町村合併に向けた合併協議会設立準備会への負担金をはじめ、国の追加補正に伴う入善西中学校耐震補強事業のほか、ケーブルテレビ事業実施に伴う減額補正などが主な理由となっている。補正額は、1億9616万円、一般会計総額は110億616万円となった。また、特別会計では下水道浄化センター整備、管路整備を前倒しして実施する。

市町村合併推進事務費 100万円

黒部市、入善町、朝日町、宇奈月町の1市3町で、2月17日に合併協議会設立準備会を設置した。

それぞれに事務負担金を予算化し、対等合併と互恵の精神を基本に法定合併協議会の早期設立を目指す。

学校施設維持管理費

2億480万円

入善西中学校の耐震補強工事費2億480万円を増額補正する。

耐震診断の結果に基づき、管理棟、普通教室棟、体育館を前倒しして実施する。



議論深める市町村合併

情報化推進事業費

△5573万円

全世帯加入分を予算化したケーブルテレビ宅内工事費助成金を、加入率63%にあわせて減額する。

公営住宅建設事業費

1億6058万円

国の追加補正により、東町住宅4棟(10戸)および周辺整備を前倒しして実施する。これにより木造31戸のうち28戸が完了する。

低コスト農業推進事業費 1500万円

生産組織の強化、経営規模の拡大を支援するため、稲作にかかる機械等の購入に対し助成する。

海岸防災林造成事業費 940万円

県の早期着工に伴い、造成する用地を町が先行取得する。場所は木根地区で、約4500mを整備する。

下水道関連整備事業費 6億6080万円

国の追加補正に伴い、入善浄化センターの増設整備に3億8000万円を増額する。また、管路整備費としては、特定環境保全公共下水道事業に1億5000万円、新屋地区農業集落排水事業に1億3080万円をそれぞれ増額し、下水道関連事業の、早期整備を図る。

古黒部地区の新規ほ場整備事業の町助成に関する請願

請願者 入善土地改良区ほか6団体
古黒部地区のほ場整備に対する町助成を求め、賛成全員により採択した。

大型ディスカウントショップ「ホームセンタータムサシ」の出店反対に関する請願

請願者 入善町商工会ほか20団体
中心市街地の空洞化を招くとして出店を反対する。議論を要するとして継続審査とした。

意見書提出を求める請願・陳情

健康保険本人3割自己負担の実施凍結を求める意見書採択についての請願・陳情 4件

請願者

・富山の医療と福祉と年金をよくする会
・社団法人下新川郡医師会
・日本労働組合総連合会富山県連合会入善地域協議会
陳情者 富山県保険医協会

イラク攻撃反対、査察の継続・強化による平和解決を求める請願及び陳情書 2件

請願者 革新の灯の下に人間の今日と明日を考える魚津懇話会
陳情者 ネットワークたかおか「地球村」

ILOパート労働及び雇用・職業の差別待遇を禁止する条約の批准、パート労働者等の労働条件の整備、基礎年金の国庫負担割合の引き上げを国に求める意見書提出についての請願 3件

請願者 日本労働組合総連合会富山県連合会入善地域協議会

子どもたちの健やかな成長のために総合的な子育て支援策を求める意見書提出の請願

請願者 広川栄美子

義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書採択の陳情

陳情者 富山県高等学校教職員組合

以上11件の請願・陳情を採択し、意見書を国に提出した。

教育基本法の見直しではなく、その充実を求める意見書採択についての陳情

陳情者 富山県高等学校教職員組合
賛成少数で不採択とした。

固定資産評価審査委員を選任

朴木静志氏(道古164番地の2)を3月5日、欠員委員に承認し、三賀博久氏(舟見1861番地1)を3月19日、任期満了に伴う後任委員に同意した。

助役・収入役の選任に同意

本助役、尾崎収入役の退任に伴い、後任として次の両氏の選任に同意した。



助役 本多良久氏
(上野11577番地)



収入役 林 榮佐雄氏
(新屋2177番地)

条 例 ・ 規 則

▼入善町男女共同参画推進条例の制定

(男女が対等な立場で共に責任を分かち合い、豊かで活力ある社会の実現に向け制定)
賛成全員 原案可決

▼入善町敬老年金条例の廃止

(所期の目的の達成により廃止)
賛成多数 原案可決

▼その他12件の一部改正 原案可決

常任委員会レポート

総務

駐車場料金の値上げは妥当か

Q 駅前駐車場などの料金の値上げはJ・R利用促進に進行するのでは。

A 町内の駐車場料金の格差是正が目的だが、他市町

と比べて高くない。

Q 合併50周年事業では、5000万円で様々な記念事業が開催されるが、もっと住民に還元される内容であるべきだ。

A できるだけ町民の参加を得るように努める。



値上げされた駅前駐車場

ケーブルテレビ(CATV)の番組J・くらは

Q CATVの番組制作はどのように検討しているか。

A Nice TVとラジオ・ミューが制作能力を持ち、見積りをとって委託したい。ボランティアでの特派員も考えている。

Q CATVの起債償還の額はいくらか。

A 広域圏で13年度と14年度の借り入れは、それぞれ25億3000万円と1億7000万円、利子は1・2%を見込んでいます。

分団の消防自動車の更新を

Q 分団の消防自動車が老朽化している。住民の安心のために新車の配備が必要か。

A 20年以上経過しているのが2台あり更新が必要。

こんな意見も

◎ 厳しい財政の中で、予算編成には苦勞の跡がみられ評価する。

◎ 合併は住民に直結する重要な問題であり、急がずに十分な議論と住民への情報提供をすべきだ。

◎ 一つの仕事を複数の課で行うときの責任と連絡体制を明確にすべきだ。

◎ 福祉会館の使用は業者より住民を優先すべきだ。

産業経済

労働金庫への預託金は十分か

Q 労働金庫への預託金は1000万円で十分か。

A 1500万円の要請を受けておりできれば多いほうが良い。勤労者に役立つよう状況を見て対応する。

コメの品質向上の具体的計画は

Q 元気な土づくりの具体的計画と補助の内容は。

A J・Aが3カ年計画でケイ酸石灰を集落単位でまく。15年度は1200万円かけるが、その内の2割を補助する。

Q 一等米比率低下の原因の一つに、黒東合口用水への流入量が基準より少なかったことがある。関電へはどのように対応したか。

A 昨年は合口用水の水不足への対応が遅れた。水の優先順位は1漁業、2農業、3発電である。不足する場合は黒四からの放流も申し込んでいる。

新湊でもアワビ養殖

Q 新湊でもアワビ養殖を始めたが、町の独自性を保てるか。

A 日本発の深層水アワビとして顧客の確保を図る。

町の既存企業への支援を

Q 雇用創出の補助金は、新たに進出する企業で町民を10人以上採用した企業を対象としているが、既存の企業への援助はどうか。

A 既存の企業でも、増設や新規事業で10人以上の採用にも適用される。

商工会は町に頼りがちでは

Q 商工会に活動費の負担を
しているが、町に頼りが
ちでないか。活動状況をもつ
と分りやすく町民に知らせる
べきだ。

A 商工会への負担は、商工
法に基づいて国、県、町
で行っている。商工会は収益
事業ができないが、自立心が
不足しているように思う。

JR入善駅待合室の管理は どうするか

Q 駅待合室の管理委託料が
なくなっているが、JR
が管理するのか。

A これまで早朝と夜間は町
が警備会社に管理を委託
してきたが、他の駅ではこの
ような例はなく、待合室は24
時間解放する。

Q JR入善駅待合室の椅子
が半分撤去されたが町は
どのような対応をしたのか。

A 他の駅舎と比べて入善駅
は椅子の数が多いとのこ
と。活性化のためにJRと民
間で何かできないか協議して
いる。

こんな意見も

◎一等米比率の低下や商店街
の衰退など、当事者意欲の欠
如も一因している。意欲を引
き出すような補助金の支出を
研究すべきだ。

◎農家への補助が手厚いと言
われるが、WTOの協定で農
業収入と担い手は減り続けて
いる。基幹産業である農業を
守るための支援が必要である
◎用地交渉では不信感を持た
れないように注意すべきだ。

中央通り線の交渉はよく県
と話し合い、場合によっては
強い姿勢も必要。

教育福祉環境

情報と福祉医療の連携を

Q CATVの整備に伴い、
サンウェルでの情報交流

と福祉医療をどう連携するの
か。

A 双方に活用したい。住
民には情報化に慣れ親し
み習得して頂きたい。

今後の介護保険財政への 対応は

Q 在宅と施設サービス費用
の格差や介護保険組合の
財政負担増など、今後どう対
応するのか。

A 3割が施設利用者で、7
割の介護費用を使ってい
る。現状では、片寄っており
16年度で制度の見直しが予想
される。

資源ゴミ回収の住民理解を 図れ

Q 資源ゴミの回収は、区長
負担が大きいとの苦情が
ある。どう理解を得るか。

A 4月から6月まで現地指
導に町の職員を配置する。
また、100世帯以上の地
区には倍のシートを用意した。
協力をお願いしたい。

学童保育の指導員は十分か

Q 飯野地区の学童保育は昨
年13人、本年20人以上が
希望している。それでも指導
導員は1人か。

A 20人超は想定していなか
った。ひとりでは困難と
思う。

こんな意見も

◎学童保育は、休館日も開所
を望む。知恵を出してほしい。

◎少子高齢化に対応した女性
施策には、町当局の努力を評
価する。
◎敬老年金の廃止は、厳しい
財政の中ではやむをえない。
◎健康保険自己負担3割の実
施は、今行うべきではない。
◎社会状況の変化をかんがみ、
見直しすべきだ。
◎民間保育園が廃業したが、
子育て支援が望まれる時であ
り、民間事業者の育成にも配
慮されたい。



南部コミュニティーセンターにミニ児童館

町政のここが聞きたい そこが知りたい

第10回定例会

一般質問

3月議会は5日より開催。一般質問は11日、12日に行われ、12人の議員が登場した。町の基幹産業である農業を守るための農業公社設立、容器包装リサイクル収集の推進と概要・スーパーセンター・ムサシ出店に伴うまちづくりについてなどを課題にして、住民の代弁者として白熱した質問となった。主な内容は次の通りである。

(ここに掲載されている内容は個々の議員がその要旨をまとめた)

- | | |
|----------------------|---|
| 大橋美椰子
(9P) | <ul style="list-style-type: none"> ・いつ出荷する養殖アワビ、見通しはどうか ・シルバーハウジングの整備体制は万全か ・容器包装リサイクル収集の推進と概要を示せ |
| 佐藤一仁
(10P) | <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度一般会計予算の景気・雇用対策への配慮は ・学校週5日制の成果と放課後児童対策、ミニ児童館のあり方を示せ |
| 東狐和
(11P) | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画「宣言都市」はいつ頃か ・障害者支援費制度の周知徹底を ・深層水を使う健康施設の計画過程と説明を明らかにせよ |
| 長田武志
(12P) | <ul style="list-style-type: none"> ・入善西部地区の土地利用計画を示せ ・恒常的財源不足にどう対応するのか ・合併後の建設計画は |
| 松田俊弘
(13P) | <ul style="list-style-type: none"> ・9億2500万円をかけての深層水を使った健康施設は見直しを ・町発注の工事への支払いを迅速に ・低入札価格調査には一般管理費も含めよ ・ケーブルテレビ開局の遅れの原因と責任は |
| 九里郁子
(14P) | <ul style="list-style-type: none"> ・住民に会議を公開し、合併資料は十分に ・スーパーセンター・ムサシはまちづくりに逆行しないか ・新聞・雑誌類の回収報奨金を減らすな ・児童館と学童保育の充実を |
| 西尾政巳
(15P) | <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビで地域の催し事の放送予定は ・雇用対策推進本部の成果を示せ ・農業公社で小農家を守れるか |
| 長谷友義
(16P) | <ul style="list-style-type: none"> ・コメ政策改革大綱に2600戸の一般農家をどう指導するのか ・雇用促進住宅を買い取る考えはあるか ・仮称第2スーパー農道の見通しを示せ |
| 上野等
(17P) | <ul style="list-style-type: none"> ・「土建業者のモラル」を正せ ・大型スーパーセンター・ムサシの出店、実態はどうか ・TMOの設立状況は |
| 中瀬範幸
(18P) | <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法見直しで、「公共心と国際性」の追加をどう考えるのか ・農業用水を活用して小水力発電所を建設できないか ・ISO14001の進捗状況を示せ |
| 本多幸男
(19P) | <ul style="list-style-type: none"> ・覚書が厳守されてない「中部清掃センター」を今後どうするのか ・合併の際、町の特色を生かした計画をどう進めるか ・再就職への対応と低価格競争の指導をどうするのか ・時代に適応した均衡ある商工業の振興対策を |
| 山下勇
(20P) | <ul style="list-style-type: none"> ・排砂による川・海の影響調査の取り組みと結果は ・撤退企業の工場跡地の活用を |

議会事務局に議事録があります

いつ出荷する養殖アワビ、見通しはどうか

大橋 美椰子 議員

町長

本格的な出荷は4月から

問 11月出荷が今や3月、4月にと延びている。アワビが大きくならないのか、販売先がないのか、値段が合わないのか、数が足りないのか、見通しはどうなっているのか。

米澤町長 販売戦略の一つとして「深層水アワビ」の名称で商標登録を出願中だ。県内外で一部取引が始まっているが、本格的な出荷は4月からの見込みだ。

鍋谷海洋深層水課長 4月のアワビ出荷は、県内と石川県を中心に2000個から始める予定。

では「おあしす新川」に委託して実施する予定で、安全面についても問題ないものと考えている。

また、すべてのシルバーハウジングが完成していないこともあり、当面様子を見るとも、3時間の派遣時間とした。時間については今後検討する。

シルバーハウジングの整備体制は万全か

おあしす新川でサポート、安全性も問題はない

問 シルバーハウジング15戸の援助員の勤務形態は1日3時間であるが、これで安心して住める整備が行われたことになるのか。また入居の現状はどうか。

上原健康福祉課長 古い東町住宅からの住み替え6戸、残り9戸を他の町営住宅からの住み替えや一般公募で募集する。

容器包装リサイクル収集の今年度の推進と概要を示せ
住民のニーズに答える

生活援助員は入居者に対して生活指導、相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応、関係機関などとの連絡、その他日常生活に必要な援助を必要に応じて提供する。町

問 50万円足らずのリサイクル推進費で啓発活動は十分か。資源回収委託料は、今年度1100万円上乗せされ、中間処理があるとはいえ月1回の収集では高い。再生広場の機能拡大と新規設置の概要を示せ。

福沢住民環境課長 住民への啓発は28会場で合計40回の説明会を実施。参加状況のばらつきが目立ち、正しい資源ゴミの分別や出し方に多少の不安を抱いている。



始まった容器包装リサイクル

平成15年度 一般会計予算の景気・雇用対策への配慮は

佐藤 一仁 議員

町長

経営安定や雇用安定を支援し、 引き続き企業誘致に努める



たくましく育て子どもたち

問 平成15年度一般会計予算は94億4000万円(前年度5%減)であるが、町民生活に直結する経済の活性化や雇用不安対策にどのような配慮がなされているか。

町長 町内の製造業において、昨年3月よりこの一年間で280人が退職した。その6割が町民で、男性が4割、女性が6割と聞いており大変残念なことである。町としては、雇用創設企業立地助成金制度を設け、要件を満たした企業には、町民の新規雇用に対し一人当たり20万円、最高1000万円を助成する制度を設ける。

また、小規模事業者への資金需要に応ずるため、信用保証協会や商工中金に合計2億3000万円の預託金を予算化する。

さらに、これまで以上に金融機関の協力を得ながら、経営安定や雇用の安定を支援し、引き続き企業誘致にも努める。

学校週5日制の成果と放課後児童対策、ミニ児童館のあり方を示せ

短い期間であり、現時点での評価はできない

問 国は「教育基本法」の改正をはじめとし、教育改革に取り組みつつある。

昨年4月より「ゆとり教育」の名のもとに始まった学校週5日制は、一年間でどのような成果が現れたのか。

また、飯野地区に開設されたミニ児童館は、今後どのように展開してゆくのか。

さらに、学童保育と小学校のかかわりはどのようになっていくのか。

米島教育長 一年間というのは短い期間であり、現時点での評価はできない。

今回の教育課程の改定で良くなった点や問題点は

1、基礎、基本を重視した授業を進めた。

2、少人数学級を導入し基礎学力の定着に努めている。

3、子供の評価を「相対評価」から「絶対評価」を重視した。

4、児童生徒の学習意欲が高まった。

5、覚える授業から、先生が教材をつくり、実験や体験を通して自ら学ぶ授業が多くなった。

6、学校に対する保護者や地域の皆さんの関心が高まり、積極的な協力が得られるようになった。

7、教師は、教材づくりに時間を費やし、今まで以上に忙しくなった。

8、土、日曜には、子供たちの家族や友人たちとのふれあいの時間が多くなったが、かぎっ子などの課題もある。

いずれにしろ、3年計画の実践研究なので、小中学校と連携し、県とも協力しながら進める。

男女共同参画「宣言都市」はいつ頃か

東狐 和議員

生涯学習 課長 スポーツ

議会や男女共同参画審議会とも 相談しながら検討したい

深層水を使う健康施設とサンウエルの変更との説明責任を明らかにせよ

問 憲法に個人の尊重と法の下
の男女平等がうたわれ、女性
が参政権を得て半世紀を経
た。

しかし、県内の女性議員の
比率は5・6%にすぎず、政
策決定の場で女性の声が反映
されていないことが、少子化
など多くの問題を解決困難に
している。

あらゆる場での男女間の格
差や不平等を是正していくた
めに、入善町民のつくる男女
共同参画推進条例が4月1日
から施行される。

国は、小さな市町村に「宣言
都市」を奨励している。町制50
周年の節目にあわせて是非
とも「宣言都市」を目ざして頂
きたい。

金森生涯学習・スポーツ課長
内閣府の力を借りて啓発事
業を開催することが出来るの

で検討したい。

問 第三者苦情相談員窓口を
どうするのか。

生涯学習・スポーツ課長

現体制の中で、専門的知識
を研修し、最大限の努力で県
や関係機関との連携を密にし
て対応していきたい。

障害者支援費制度の周知
徹底を

支援費制度の案内パンフレットや
広報にゆうぜん11月号に

問 今年4月から障害者に対
するサービスの制度が「措置
制度」から「支援費制度」へ大
きく変わる。

障害者本人が利用したいサ
ービスを決め、事業者を選ん
で契約する仕組みになるが、
正しく伝えられているか。



大きく変わった障害者支援

健康福祉課長 現在のところ
40件の申請を受け、身体障害
者および知的障害者の施設入
所について、36件の申請を受
け付けている。

支援費の支給決定に向け専
門機関と連携を密にしている。
障害者の生活設計に沿った
サービスが提供できるよう努
める。

サンウエルが目指した機
能などを、より高度化し
たソフト重視型へ

問 平成9年度の「ふれあい
交流プラザ」建設事業費24億
5000万円のうち水浴・沐
浴で20%カットし、中途半端
な施設となった。この不況下
に9億2500万円の健康施
設計画は、首長の先見性とそ
の説明責任が問われる。

町長 サンウエル建設時にお
ける見直し方針として、水浴
・沐浴にリハビリ効果も期待
された。しかし、収益性のある
利用率の確保と幅広い利用
者に対応できる施設規模や機
能であるかを検討し、費用対
効果からも計画から除外する
結論を出した。

入善西部地区の土地利用計画を示せ

長田 武志 議員

助役

農業と商業、工業地域として 大きな可能性を秘めている地域

問 入善西部地区には東西に8号バイパス、南北に町道平曾川国道線が走り、完成すれば交通の流れが一変し、その周辺の土地は企業の誘致先として注目される。

しかし、この土地は農業振興地域内にあり、開発行為に制約を受ける。

今後、町当局は新たな町の活力を生み出すため、この土地の開発が不可欠であり、進出を希望する企業には、地元農家、商店、企業が参加して共存共栄が図られるよう行政指導し、誘致促進を図るべきである。

木本助役 農業振興地域内における農業と商業、そして工業ゾーンの棲み分けをどのようにしていくのが、今後のまちづくりの大きな課題だ。土地利用計画には土地所有者や土地改良区との調整が必要である。

この地域の豊かな地下水や海洋深層水、黒部川沿線の優位性を生かすために、関係者が集まり、この地区の基本計画を早急に策定しなければならぬ。

恒常的財源不足にどう
対応するのか

財政運営の基本は「入るを
計って出るを制す」

問 現下の財政状況は、不況と雇用情勢悪化による町税の減収と、交付税や交付金の減額で厳しい予算編成となっている。町監査委員、決算特別委員会の審査意見をどう新予算に反映したか。

大角財政課長 町民のための税を始め財源が有効に活用されているかという観点で、補

助金・負担金については、その効果、目的、金額を精査し真に必要なものを計上し、一定の目的を終えたものや効果が期待できないものは廃止した。

また提言のあった施設管理と業務委託の適正化、循環型社会の形成、人事管理、住民窓口、福祉サービスの向上、雇用対策、農業・商工業などの産業振興、深層水事業の推進に取り組み方向で予算化している。

問 行財政改革への取り組みの必要性は、これまで以上に不可欠と思うがどうか。

財政課長 改革なしでは行政目標が達成できないと認識している。町民すべての幸せのため「最少の経費で最大の効果」をあげるべく、行財政運営が必要である。民間有識者による行財政改革懇談会での意見を伺い、指針・目標を定めて改革に全力を傾注する。

合併後の建設計画は

海洋深層水の利活用と施設
への連絡道路の整備

問 合併は町民の幸せのために行うもので、本町の総合計画を合併後の建設計画にどう反映させるのか。

町長 合併後の建設計画は、総合計画が基本。とりわけ、町の新しい資源である海洋深層水を活用しての健康増進施設整備や、施設への連絡道路である町道平曾川国道線の整備などを重点事業と位置付け、町の案がすべて盛り込まれるよう、全身全霊をもって取り組む。



問われる行財政改革

9億2500万円をかけたの

深層水を使った健康施設は見直しを

松田 俊弘 議員

町長

来年度に規模や機能を検討し初期投資額を決める

問 健康増進のためなら、既存の深層水施設の周辺でなく、今の健康施設を中心であるサンウエルに沐浴施設を設けるなり、ふれあい温泉の充実を図るべきだ。

2から3℃の冷たい深層水を加温するために相当の経費がかかり、財政難のうちに大きな費用のかかる建設計画は見直すべきだ。

町長 来年度に規模や機能を検討し、初期投資額を決める。深層水を得てできる特別な事業であり、サンウエルやふれあい温泉は別の議論が必要。

町発注工事への支払いを迅速に 他市町をみて検討する

問 町の公共事業を請負う業者には、工事完成後の検査か

ら40日以内に支払いがされているが、不況で資金繰りに苦しむ中小企業のみなさんは、支払いまでの期間の短縮を訴えている。県は、2週間程度に短縮しており町もせめて20日程度に短縮すべきだ。

助役 改善方法があるか、近隣市町の状態を見て検討したい。

低入札価格調査には 一般管理費も含めよ

基準の一律化は困難

問 昨年10月からAランク業者の町公共事業の平均落札率は、67・4%と異常に低く、9月までの平均94・5%とは大きな差で、中には55%のものもある。

過度の競争は、業者の健全



4月17日開局のケーブルテレビ

な経営と町民の雇用に影響する。低入札価格の審査には、経営に欠かせない減価償却を含む一般管理費も考慮すべきだ。

また、契約がたよらないよう、同時に2つの公共工事

を行っている業者を指名から外す制度を復活すべきだ。

助役 低入札価格調査の基準の一律化は非常に難しく、今の12項目の調査で個々に決定していく。

2つ以上の工事施工者の入

札制限は、今後とも適正競争原理に基づき、今のところ抑制を考えていない。

ケーブルテレビ開局の 遅れの原因と責任は

町としても責任を感じる

問 ケーブルテレビは1月から試験放送開始の計画だったが、遅れた原因と責任を明らかにせよ。

当局は、宅内工事には町の補助が出るので工事は安くできると説明したが、3万円、4万円の負担も少なくない。町の説明不足だ。

大木企画広報課長 宅内工事業者には、工事前に十分説明するよう求めている。

助役 町としても大変責任を感じている。改めて、これまでの経過を説明したい。

住民に会議を公開し、合併資料は十分に

九里 郁子 議員

町長 会議は原則公開とし運営規定などに明記したい

問 合併協議会設立準備会は、すべて公開にすべきである。住民が合併の是非を判断できるように、資料の提供と手立てを十分にとることが必要である。

町長 会議は原則公開とし、協議会の運営規定などに明記したい。協議会設置まで短い期間だが、可能な限り資料を示したい。協議内容を詳細に的確に情報提供することが、住民に理解してもらえるものとする。

スーパーセンター・ムサシはまちづくりに逆行しないか

住みよいまちづくりに努力

問 進出を計画しているムサシは、日常生活必需品を扱い異常に安い。町内の商店街や郊外店への影響をどのように考えているか。

黒部市のサテイが撤退するが、6年前、出店で商店が何軒も閉店した。身近な商店がなくなってしまう、高齢者はどこへ買い物に行けばいいのか。高齢化が進んでいる入善

町でも、まちづくりにかわる重要な問題である。誰もが安心して暮らせる「まちづくり」をどう考えるのか。

飛田商工観光課長 昨年10月、上飯野・東狐・笹原地区への進出要望書が町に出された。

開発規模は約13ha、町内商店街などへの影響は非常に大きいと思う。約5400人の反対署名を受け取っているが、飯野地区あげて誘致運動が展開されていると聞いている。

賛否両論あるが自由経済での商業競争は避けられず、各店舗の創意工夫が必要だ。食

事の宅配サービス制度の充実など住みよいまちづくりに努力したい。

新聞・雑誌類の回収報奨金を減らすな

ごみ減量と経費の縮減に協力を

問 PTAや婦人会などの新聞・雑誌類の回収は資源保護に貢献している。回収報奨金を引き下げず、Kg3円に据え置くべきだ。燃やせるごみとして処理した場合、町の負担はどれくらいになるか。



減らすな回収報奨金

住民環境課長 13年度22団体が回収した新聞・雑誌類は約520トン。回収報奨金と逆有償金でKg当り6から8円程かかる。全部償却処分した場合、負担金と収集委託料でKg18円程度になり、町の負担はリサイクルの3倍となる。資源回収の継続、ごみの減量化と、経費の縮減に協力願いたい。

児童館と学童保育の充実を

県の補助制度を活用したい

問 県の「ミニ児童館整備事業」制度を活用し、すべての校下にミニ児童館を増設する考えはあるか。県は、5人以上9人以下の小規模や土日、祝日加算など、補助制度を拡充した。学童保育を増やし、飯野地区の学童保育の充実を考えているか。

生涯学習・スポーツ課長

公民館を改修し児童館として活用を考えたい。飯野地区の学童保育については、15年度は県の補助対象にしたい。

ケーブルテレビで地域の催し事の放送予定は

西尾 政巳 議員

企画広報課長

地域イベントなどを撮影し、

地元密着の話題を提供したい

問 サンウエルにスタジオが設置されたが、ケーブルテレビでは講座や講演会などの放送をするのか。

企画広報課長 地域特派員制度を設け、各施設で行われる講座、講演会などを取材、放映したい。

問 報道の自由とは言え、個人のプライバシーに関することや名誉毀損、肖像権に関することなどは厳に慎むべきだ。個人情報保護の基準マニュアルをつくる予定はあるか。

企画広報課長 新川広域圏では、12人のメンバーの放送番組審議委員会を組織し、放送番組のチェックをする。人権、人格、名誉などの基準を設け、地域社会の信頼に応える放送を行う。

個人情報保護については、電気通信事業における個人情報

保護のガイドラインが定められており、これに即した規定を定め対応する。

雇用対策推進本部の成果を示せ

求人情報の閲覧が中心

問 町の雇用対策推進本部の活動と成果はどうか。特に女性の非正社員比率は50・6%と2人に1人以上であり対策を求めらる。

商工観光課長 月2から3件の相談がある。就業相談やハローワークの求人情報閲覧が中心である。

町は子育てサポート事業を計画している。事業主にも女性の就業支援を働きかけていく。

問 今後、職業安定法と労働者派遣法の改革がある予定だが、どう対応するのか。

商工観光課長 改正の動きがあれば、労働局など関係機関との連携を取りながら速やかに検討したい。

農業公社で小農家を守れるか

集落営農への参加を勧める

問 農業公社設立後の農作業銀行はこれで終わるのか。

町長 従来の低コスト農業の展開を図る支援策として、引き続き公社で継続する。

問 農業公社の支援事業を進めていくと、小農家の切り捨てにならないか。また、耕作放棄田の対策はどうするのか。



住民に役立つ情報を「みらーれTV」

中島農業水産課長 農家との話し合いで集落営農の中に参画させたい。

公社が第一に放棄田を防ぐことを考え、場合によっては管理料を頂戴してやっていきたい。

問 富山の水稻新品種「てんたかく」についての取り組みはどうか。

町長 県はコシヒカリ偏重を避けて、早稲の新品種「てんたかく」を開発している。状況をみて、栽培バランスのとれた米作りも必要である。

コメ政策改革大綱に2600戸の一般農家を どう指導するのか

長谷 友義 議員

町長

推進協議会を設置し 農業経営が安定することを検討

問 昨年12月3日農水省は、コメ政策改革大綱を策定したことにより、今まで助成されていた生産調整(減反)助成金、また、米価下落補てん助成金(稲経)が削減される。認定農家にはそれなりの望みもあるが、一般農家2600戸の皆さんを今後どのように指導するのか。

町長 大綱の趣旨は、平成22年度を目標に「米作りの本来あるべき姿を実現すること」を明確にした上で、米作りを推進し、水田農業経営の安定と発展を図ろうというものがある。

大綱の新しい対策の主なものとしては、第1に「産地づくり推進交付金」の創設、「米価下落影響緩和」対策である。第2に認定農家や一定の要件を満たす集落営農を対象とした担い手経営安定対策である。

第3には、豊作による過剰米が発生したときに備えて、「過剰米短期融資制度」の創設である。

今後、農家をどのように指導するかについては、平成16年度からスタートする「コメ

政策改革大綱」の対策として、仮称「入善町水田農業推進協議会」を設置して、農業経営が安定するよう検討する。

雇用促進住宅を 買い取る考えはあるか

買い取るメリットは
ないものと判断

問 雇用促進住宅を町に払い下げる話があったのか。また、買い取る考えはあるのか。

財政課長 平成12年5月閣議決定を受けて雇用能力開発機構から譲渡に対する打診があった。

購入について検討を行ったが、維持管理費などに莫大な経費がかかる。また、機構からの固定資産税が年間約700万円の減になることから、町として買い取るメリットは無いものと判断した。引き続き機構に経営を継続するよう働きかけていきたい。

仮称第2スーパー農道の
見通しを示せ

県営農道事業として
国に申請している

問 仮称第2スーパー農道の着工と今後の見通しはどうか。浜田建設課長 県営の農道事業として取り組むよう、国に申請をしている。

この事業内容は、総事業費約56億円、朝日・魚津間のうち10Km、歩道を含めた道路幅員12mになっている。

「県からは平成15年度に国から事業認可を受け、調査や用地の買収などを進めていく」と聞いている。

しかし、事業費が巨額で工期も長期間になることから、分割採択の可能性もある。町でも全面的な支援体制を整え平成15年度中の契約完了を目指したい。



どう対応するコメ政策改革

「土建業者のモラル」を正せ

上野 等 議員

下水道課長

嚴重に注意し始末書を提出させた

問 公共下水道工事、県道宇奈月線舗装普及工事において長雨と雪が原因で工期を延長したが、他の業者も工期を延期したのか。

答 西川下水道課長 悪天候などで作業可能な日数が大幅に減り、安全・品質管理上やむを得ないと判断し、延期を許可した。

問 昨年11月から今年1月までに27件の工事を発注したが、指摘の工事2件を含め舗装1件、管工事4件の工期を延期した。

答 下水道課長 長期にわたり夜間作業を継続していた。作業員の健康と安全管理上の問題があり、2月20日付で注意書を出し、夜間作業をやめるよう指導した。

問 今後このようなことがないように施工業者の管理、監督をさらに徹底していく。

大型スーパーセンター・ムサシの出店、実態はどうか

TMOの設立状況は
勉強会をひらいている

土地利用計画の早急な策定が不可欠

問 TMO設立の動きが見えないが、当局は状況を掌握しているのか。

答 町長 商工会の方針が固まらなければ、手のつけようがない。

現在、役員が中心となり設立に関する勉強会を開催している。



「ムサシ」出店に揺れる商店街

成させるのが常識である。工期の延期は評定点数に大きく反映させる。

問 この工事において運動公園山側駐車場に砂利や舗装資機材などを置いていたが、町が許可したのか。他の業者は個人の土地を有償で借り上げているか。

問 大型スーパーセンター・ムサシの出店要望書が提出された。開発規模は2万坪とも4万坪ともいわれている。日常必需品、園芸、ペット、外食産業など多種にわたっていると聞かざるが実態はどうか。

教育基本法見直して「公共心と国際性」の追加をどう考えるのか

中瀬 範幸 議員

教育長

公共心を育て郷土や国を愛する心を持つことが重要

問 中央教育審議会が教育基本法見直しの中間報告をしたが、「公共心と国際性」の追加について町の考えを寄せ。

教育長 中間報告では、家庭の教育力の回復、学校・家庭・地域の連携協力などを見直すべきであるとしている。

現状は公共心のかん養に比べ自由や個人の尊重が先行し過ぎるとの反省がある。公共に主体的に参画する意識や態度を育てることが重要と思う。

また、厳しい国際社会にあつては「個人の幸福は国の安寧」にある。日本人としてのアイデンティティーの基礎となる伝統・文化の尊重や郷土と国を愛する心を持つことが重要と思う。

問 平成14年4月から学校週5日制が実施されたが、現時点での評価はどうか。

教育長 「ゆとりと生きる力を育む」として5日制となった。地域との交流や保護者の教育的なかわりが増えたと思う。

教科内容の削減で学力低下が懸念されたが、基礎学力を重視し個性を大切にす教材研究などにより、学習意欲が

高まったと報告を受けている。

農業用水を活用して小水力発電所を建設できないか

国・県・他市町の動向を見ながら高い関心を寄せていく

問 農村振興整備事業により、国・県70%補助で小水力発電所建設が可能となった。



沢杉の草刈 上青小学校

富山市土地改良区では、電力販売の収益を水路施設の維持管理費にあて、組合員の費用負担の軽減を図るために「農業用水ミニ水力発電特区」を国に申請した。

舟川水系、農業排水、下水道排水などで建設できないか。町長 水が豊富で適度に落差工がある入善町には、有意義な方法である。

しかし、発電のみの事業化には非常に強い規制があり、今後とも国・県・他市町の動向や、調査研究の進み具合を見極めながら、町としても高い関心を寄せていきたい。

ISO14001の進捗状況を示せ

年内認証取得に努める

問 行政が率先垂範で環境保全を進め、体質強化と環境パフォーマンスの改善、全員参加による取り組みを図らなければならぬ。ISO14001の取り組みは庁舎全部での宣言も必要だ。

総務課長 役場本庁舎、職員約150人を対象範囲として、昨年10月コンサルタントと委託契約をした。

本年度は準備段階で6回の研修会を受け、環境側面の抽出・分析と共に環境目標と計画を作成する。

新年度は実施・審査段階とし、運用状況の確認と記録などをまとめながら年内の認証取得に努めたい。

覚書が厳守されていない「中部清掃センター」を 今後どうするののか

本多 幸男 議員

町長

1年目基本計画、2年目環境調査、3年目許認可申請、
4年目工事施工の運びとなる

問 新川広域圏の最大の迷惑施設である「し尿処理場」は40年以上経過し、悪臭と環境悪化は極限を過ぎてきている。今後の基本計画を示されたい。

町長 施設は40年経過し限界に達している。下水道が整備されても規模を縮小して残さなければならぬ施設であり、一日も早い更新を強く働きかけていく。

合併の際、町の特色を生かした計画をどう進めるのか

総合計画に基づく事業を
着実に進める

問 町長は平成17年3月までに合併すると公約されたが、吸収合併ではなく、対等合併である以上は、入善町の歴史と自然環境を生かした特徴あるまちづくりが先決である。

どのように整理して「新市」へ申し送るのか。

町長 合併の有無にかかわらず、総合計画に基づき「人・土・水」をキーワードとしたまちづくりを進めることが肝要である。合併を前提に新しく事業を進めるのではなく、総合計画に基づく事業を着実に進めることが、将来も発展

するまちの基盤になる。

再就職への対応と低価格競争の指導をどうするのか

雇用不安の解消と業界の健全化を図る

問 町当局は、町内企業の雇用状況、希望退職という名の首切り、解雇、失業の実態に

ついてどの程度把握し、再就職の希望調査と対応にどう協力しているのか。

また、町内に多い建設業界において低価格競争が多発している。倒産の続出が危惧されるが、どう指導しているのか。

町長 町内の有力企業でも相当数の早期退職者が出ている。再就職した人は極めて少ない。一日も早く希望する職に就けることを念願している。

助役 建設工事の減少から、公共工事の低価格受注が多くなっている。町の低入札価格調査の対象になった工事は昨年4月から現在までに15件あった。

厳正な調査で発注したが、品質確保、労働条件の悪化、下請けへのしわ寄せ、安全対策などに問題が生じる心配がある。

ある。今後とも雇用不安の解消と業界の健全化に万全を期したい。

時代に適応した均衡ある
商工業の振興対策を

議会での議論などを尊重し
町長が決断する

問 消費者ニーズと町活性化につながる商工業を構築するために、西部地区に大型店舗を誘致し、合併後を展望した人が集まるにぎわいのまちづくりを推進すべきでないか。

経済効果、新規雇用拡大、地産地消、共存共栄について当局の見解を示せ。

町長 賛否両論あるが、商業経済圏の地殻変動が怒濤のごとく進んでいる今日、小さな木だけ見るのではなく、森を育てるような大きな政策展望が必要と考える。議会での議論などを尊重して町長が決断する。



改修が急がれる中部清掃センター

排砂による川・海の影響調査の取り組みと結果は

山下 勇 議員

町長 特に問題となる現象は見られなかった

問 これまでの排砂による川と海の影響について、公式調査の取り組みと結果、および15年度以降の排砂計画はどうか。

町長 連携排砂の実施機関である国土交通省と関西電力による環境調査が実施されている。ダム湛水池から河口までの対象区域の水質、底質、並びに水性生物について、排砂実施期間の前後に定期的に調査している。排砂中は水質の調査を実施しており、漁業関係団体、内水面、農業団体に報告されている。

昨年の連携排砂に伴う環境調査では「特に問題となる現象は見られなかった」との報告であった。中期的な環境の変動状況を見て一層影響の少ない方法がないか研究するよう要請していく。

例年5月に、土砂管理協議会が開催されて決まるが、14年度では、排砂期間は6月から8月とし、ダム流入量が出し平ダムで毎秒300トン、宇奈月ダムで400トンのいずれかを上回る最初の出洪水時に実施することになる。

問 漁業者は関西電力を相手に排砂差し止め訴訟を起こしているが、漁業の実態はどうか。また、黒部川本流の水量が少ないときがあるが、規定水量が下流まで流れているか。

町長 海面漁業については毎年多少の変化はあるものの、排砂による漁獲量の影響については特定できない状況である。

内水面でのサケ遡上では、排砂の影響はないとのこと。鮎は排砂により海に流れた場合、再遡上しないことから、鮎の再生産を図るため人口産や海産鮎が検討されている。4月から8月までは水量が

豊富で規定水流が確保されていたが、9月には規定水量不足があった。今後このようなことが起こるようなら、水量の確保について関西電力に要請していく。

撤退企業の工場跡地の活用を

緑茶ドリンクの企業が進出

問 機械工業団地やトイヨー被服、源水、舟見ベアリングなど遊休工場の再活用計画はあるか。

商工観光課長 昭和39年に開設した機械工業センター内に6000㎡の遊休地があり、進出企業があれば相談に応じたいとの意向である。

隣接した遊休工場では、「緑茶ドリンク」を製造販売する企業が6月の営業開始を目指して準備を進めている。従業員20人程度の採用計画である。将来的には海洋深層水を利用した緑茶飲料やタラソテラピー計画と連携した観光事業への展開を期待している。

源水については今回、岡山市の会社が営業譲渡を受け事業を継続することになり、ここでも地元住民を中心に10人程度採用で出発する計画だ。

トイヨー被服は、今後とも有効活用に向けて施設提供したいとの意向であり、舟見ベアリングは舟見山周辺整備と一体として活用検討したい。通販会社については、進出を中止するとの連絡があった。理由は、コールセンターを取り巻く社会情勢が大きく変化したことによるものである。



遊休工場に進出の「緑茶ドリンク」企業

町の誇れる資源、海洋深層水シリーズ!!

町が目玉事業である「海洋深層水事業」の現状と課題、今後の計画についてシリーズで紹介します。
今回は海洋深層水を使用して現在行われている事業についてです。

「深層水あわび」

販売開始

昨年4月から養殖していた日本初の「深層水あわび」の販売が始まりました。

4cm程度だった稚貝も7cm以上に成長。砂をかんでいなく、肉厚で適度な歯ごたえは天然物と同等との評価。

月産3000個の出荷体制が整い、15年度では約6万個の販売を目指しています。

課題としては、通年の安定供給化、コストダウンによる価格の低減、更なる量産効果による経営の安定化など研究が急務です。

「深層水」仕込みの

お酒に

発泡酒としては、爆発的な売れ行きをみせたアサヒビールの「本生」にも入善の深層水が使われています。

さらに今年の2月、朝日町の林酒造が日本酒「入善海洋深層水仕込」の販売を開始。富美菊酒造や銀盤酒造でも海

洋深層水を使ってお酒が発売されます。

海洋深層水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどの天然ミネラルが、酵母による影響を与えているようです。

入善海洋深層水ブランドを普及させるためにも、さらにウイスキー、焼酎、清涼飲料水などにも拡大したいものです。

お粥や味噌にも使用

3月には町企業アドバイザの若林光彦さんが、入善産コシヒカリと海洋深層水を使った「玄米がゆ」を開発し、「ゆうバック」の商品として全国販売を始めました。

この他にも、入善町の女性グループ「豆な海」が、深層水を使って味噌を開発。あつと言間に売り切れ状態になり、今後増産体制を図ることになっていきます。

さらに入善町の農産・海産物の特産品化して全国展開が望まれます。今後その販売ルート、PR方法が課題です。

健康分野にも活用を検討

海洋深層水はあらゆる分野で注目を浴びています。

14年度に深層水施設から分水を受けた業者は86社にも上り、食品会社がほとんどを占めますが、農業や水産、美容

面での利用も行われています。高齢化社会を迎え町民の健康づくりや介護予防、福祉の向上などを図るためにも、町は海洋深層水の特性を生かした海洋療法施設（タラソテラピー）を早急に建設し町民に応えたいと調査・研究を始めました。



漁協で販売しています

自然の恵みと親切に感謝を

入善町に移り住んで

栢山 田代 宣代 たかよ

(愛知県岡崎市出身)

入善町に来てまず第一に感じましたことは、なんとカリキの臭いのない自然な「お水」のおいしさ、ピチピチで新鮮（キトキト）な「お魚」のおいしさ、もうこれだけで充分贅沢なくらしだと思いました。こちらに来てまもなくのことで、町内のバーベキュー大会に呼んでもらい、めずらしい岩ガキをその場で焼いていただきました。こんな大きなカキを真夏に食べられるなんて、とても驚きました。本当においしかったです。

また、この町に住む人達の心のやさしさ、親切な人柄にもふれました。それは、初めてのゴミ出しの朝のこと、ゴミ袋を手を公園をめざしてたのですが、いくら歩いても見当たらず工事の人にたずねたらその家のおじさんをお呼んでくれました。「あんたどこから来たがけ」と聞かれ、そこは隣りの地区でした。「ちよっこし待つとられ」と、自分の所のゴミ袋を出してき



てそこに入れ、持って行ってくださいました。

主人のアイシン新和赴任に伴って、はや9カ月経ちましたが、こんな親切な人達に囲まれ、自然がいっぱいの町に心がいやされております。特別においしい「お水」、これはいくら豊富にあるからといっても大切な資源だと思います。私はこの自然の恵みに感謝しながら大切にに使わせていただきます。

入善むかし話

(森 清松編より)

「地神塚」

道市の泉丈右衛門さんのうしろ、約二百メートルのところにある塚を地神塚といっています。

むかし、一人の武士がここで切腹しました。そこで村人は、持ちものといっしょに、ここへ埋めました。

その後、この塚の上に、白蛇がいるのを見た人がいて、歯のいたい人のお参りすると、ふしぎにも、治るといわれています。

基盤整備のおわった今でも、田んぼのあぜの方に、大きな松の木とともに残っています。



編集の窓

連日イラク戦争が報じられています。今議会では「イラク問題は査察の強化で平和的に解決を」との意見書を採択していただけない、大変残念です。一日も早いイラクの復興と、イラク国民による新しい国づくりを強く願うものです。

3月議会は、年間の予算を審議する重要な議会であり、景気の低迷による税収減のなか、いかに無駄を省いていくかが大きなテーマでした。

また、市町村合併や大型スーパーセンターの出店計画など、町民の生活に直接かわる重要な問題が山積しており、今後も多面的な論議が必要です。

新しい編集委員会は、議会便りが、町民の皆さんと議会との良き橋渡し役になるよう努力してまいります。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 松田 俊弘 |
| 副委員長 | 大橋美椰子 |
| 委員 | 長谷 友義 |
| 〃 | 山下 勇 |
| 〃 | 松澤 孝浩 |
| 〃 | 中瀬 範幸 |

地球にやさしい再生紙を使用しています